



人がまちを育み まちが人を育む  
チャレンジあふれる都市・はんだ



## はじめに

このたび、令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)までの新しいまちづくりの指針となる第7次総合計画を策定しました。

令和の時代の幕が開き、明日への期待や希望を胸に新たな一歩を踏み出しました。そのなかで、私たちを取り巻く社会環境の目まぐるしい変化は、まさに予測困難と呼ばれる時代に直面していることを実感させられるものがあります。

とりわけ、世界規模で拡大した新型コロナウイルス感染症は、市民生活に大きな影響を与え、これまで当たり前であった価値観や生活様式を半ば強制的に見直すきっかけとなりました。

一方で、交通手段や情報技術の発達により、私たちの生活圏は拡がり、暮らしはより便利で快適になっています。インターネット等を通じて、あらゆる情報が簡単に手に入るようになった今日では、生活の拠点である住まいを選ぶ際には「まちの個性」に注目している人も増えていると感じます。

本市の個性や魅力は、全国に誇る豪華絢爛な山車や祭礼行事、日本三大運河の一つである半田運河と醸造蔵、優しさあふれる新美南吉文学、ビールづくりへの果敢な挑戦の証である半田赤レンガ建物など、他市町にはない歴史・文化とその豊かさに彩られた暮らしにあります。これらは、市民のふるさと半田への愛着や誇りにもなっています。

第7次総合計画は、半田市が誕生して以来、初めて本市の将来人口が減少を迎えるなかで進めていく計画となります。この大きな時代の転換期において、本市の普遍的な都市像である「健康で明るく豊かなまち」を実現していくためには、半田の歴史・文化を築き、守り、受け継いできた先人たちの姿勢に学び、情熱をもってチャレンジしていくことが必要です。

この新しい10年間で、20年、30年先の本市のまちづくりの確かな礎となることを信じ、常にワンランク上を目指し、市民の皆様とともに、オール半田でチャレンジあふれるまちづくりを進めてまいります。

最後に、本計画の策定にあたり、ご尽力いただきました、まちづくり市民会議を始めとする市民の皆様、総合計画審議会や半田市議会の皆様にご心から感謝を申し上げます。

令和3年3月

半田市長 榑原純夫

## 半田市民憲章

わたくしたちは

- ◎ 自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
- ◎ 教養をふかめ、高い文化をきざぎましましょう。
- ◎ 健康で明るく、楽しい家庭をつくりましょう。
- ◎ 希望にみちた、あたたかい社会をつくりましょう。
- ◎ 仕事に誇りを持ち、たくましい市民になりましょう。

(昭和43年1月18日決議)



# HANDA



# 第7次 半田市総合計画 2021 ▶ 2030

## 目次

<b>第1編</b>	<b>計画策定にあたって</b>	
第1章	計画策定の趣旨	2
1	計画の意義	2
2	策定にあたっての基本的な視点	2
3	計画の構成と期間	3
4	総合計画と個別計画との関係	3
第2章	計画策定の背景	4
1	半田市を取り巻く社会経済情勢の変化	4
2	半田市のまちづくりの主要課題	6
<b>第2編</b>	<b>基本構想</b>	
第1章	まちづくりの基本理念と都市像	10
1	まちづくりの基本理念	10
2	将来の都市像	10
第2章	将来人口	11
第3章	土地利用構想	12
第4章	施策大綱	14
1	まちづくりの主要課題の推進と施策等の展開	14
2	施策の体系	15
3	基本的な方向	16
<b>第3編</b>	<b>基本計画</b>	
	施策の体系	24
	基本計画の構成	25
第1章	学びあい育ちあう 自分らしさと夢を育むまち	29
	基本施策1 育ちの支援	30
	基本施策2 学びの応援	34
第2章	地球に配慮しながら成長する 都市の活力を育むまち	39
	基本施策1 観光・産業	40
	基本施策2 環境	44
第3章	つながり助けあう 健康と笑顔を育むまち	49
	基本施策1 地域福祉	50
	基本施策2 健康	54
	基本施策3 医療体制	58
第4章	安心・安全で快適な生活 質の高い暮らしを育むまち	63
	基本施策1 安心・安全な社会	64
	基本施策2 都市空間	68
	基本施策3 都市基盤	72
第5章	互いを尊重し知恵と力を活かしあう 豊かさを育むまち	77
	基本施策1 協働	78
	基本施策2 共生社会	82
	基本施策3 行財政	86
	<b>資料編</b>	92